

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域資源のブランディング化による未来創造プロジェクト「好機到来」事業
事業主体 (連絡先)	佐久広域連合 0267-62-7721)
事業区分	(6) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,412,464円 (うち支援金: 3,000,000円)

#### 事業内容

##### ○小海線全線開通80周年記念事業

###### ・「小海線の歌」短歌コンテスト

八ヶ岳、野辺山、千曲川—美しい高原を走り続けてきたJR小海線。31駅からなる同線が、全線開通から80周年を迎えました。そこで、さまざまな感情、喜びや切なさ、恋心や希望、地域への愛情もあれば世界へ羽ばたこうとする夢—そんな美しい路線に詰まったたくさんの気持ちを、5・7・5・7・7の31音=短歌に込めるコンテストを開催した。

###### ・「JR小海線の今、むかしを訪ねて」探訪(研修)ツアー

佐久鉄道開業記念日の8月8日に、地域住民の皆様が小海線開通の歴史を訪ねながら小海線と沿線地域の魅力を再発見し、その価値を伝えていくことができるよう探訪(研修)ツアーを開催した。

##### ○油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信イベント

JAXAが募集したリアルタイム交信イベント企画で採択されたものです。応募申請者である主催者の川上村のメイン会場を川上中学校と連携し、共催として佐久広域連合及び野沢北高等学校が第2会場として野沢北高等学校講堂で実施した。



「小海線の歌」  
短歌コンテスト募集チラシ



ダ・ヴィンチH27.9月号  
短歌募集記事掲載



ダ・ヴィンチH28.2  
受賞作品記事掲載



「小海線の歌」短歌コンテスト  
発表会及び表彰式



「JR小海線の今、むかしを訪ねて」  
探訪(研修)ツアー



油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信イベント

【目標・ねらい】

- 全線開通80周年を迎えたJR小海線という地域資源を基に、地域をつなぎ、沿線や地域全体の発展につながる活性化策を考える機会とし、地域で魅力を共有しながら磨き上げ、地域外へ情報発信する。
- 油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信イベントや探訪(研修)ツアーを通じて、佐久地域の魅力を地域のみなさんに再発見してもらえよう地域が一体となって協働する。

※自己評価【A】

【理由】

- ・事業目標を達成し、地域の魅力を再発見し、磨き上げる取り組みができた。

事業効果

○小海線全線開通80周年記念事業

全線開通80周年を迎えた小海線という地域の魅力を、31の駅からなる小海線と31音をつむぐ短歌と結びつけた『「小海線の歌」短歌コンテスト』、小海線に乗り沿線を巡り、地元で愛される小海線を再発見していただいた『ふるさと探訪(研修)ツアー』では、地域で共有しながら未来に向けて新たな価値を創造し、圏域外への情報発信につなげることができた。

- ・「小海線の歌」短歌コンテスト 応募総数1859首
- ・ふるさと探訪(研修)ツアー 参加者30名

○JAXA油井亀美也宇宙飛行士ISSリアルタイム交信イベント

これからの地域を担う子どもたちに、無限の夢を持ってもらうとともに、佐久地域が持っている魅力を感じてもらうことができた。

- ・第2会場 長野県野沢北高等学校 参加者824名

今後の取り組み

小海線全線開通80周年記念事業とJAXA油井亀美也宇宙飛行士ISSリアルタイム交信イベントは、地域住民の皆様が地域の魅力や価値を見つめ直す機会となり、地域を誇る機会となりました。

小海線(31駅=結ぶ)を短歌(31音=紡ぐ)で表現するという、小海線と短歌の縁は、佐久地域固有の地域おこしのモデルとなりました。

今後の取り組みとして、地域外からの来訪者が、佐久地域の観光素材(小海線と短歌のつながり、JAXA油井亀美也宇宙飛行士)をきっかけに、佐久地域に暮らす住民との接点が生まれることで、地域消費を促進させることができるよう、この事業のノウハウを生かしたい。